

令和5年度（2023年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

【B日程入試】法律専門科目試験

商法 出題の意図

問題1

株主の権利であり共益権の典型例である株主総会における議決権に関する基本的かつ極めて重要な原則の知識を把握しているか、また、極めて多岐にわたる例外につき、会社法を横断して理解しているか、制度及び条文の知識を問う問題である。

問題2

いわゆる非公開会社における株式に関する各種取扱いに関し、重要判例の知識及び理解の程度を問う問題である。

問い（1）は、従前より議論のあった最高裁昭和46年7月16日判決（判タ266号177頁）につき、非公開会社においては適用されないとしたとされる最高裁平成24年4月24日判決（民集66巻6号2908頁）を題材としたものであり、公開会社とは異なる規律に従うことを明らかにしたことの理解を問うものである。

問い（2）は、譲渡制限株式の譲渡契約に関する当事者間（及び対会社）の効力に関する判例（最高裁昭和48年6月15日判決）を題材としたものであり、その譲渡制限に関する趣旨も含め、判例の理解を問う問題である。